

緋乃ひの  
Presented by Hina Hino



# この世はすべて テントクル!

*This world is all  
Tentacles!*

成年  
コミック

**試し読み版**

# *This world is all Tentacles!*

## Contents

- ① テンタクラームズキ 第1話…………… 005
- ② テンタクラームズキ 第2話…………… 025
- ③ テンタクラームズキ 第3話…………… 045
- ④ テンタクラームズキ 第4話…………… 065
- ⑤ 墮ち果てる魔法剣士…………… 085
- ⑥ 囚われの異邦人 ……………103
- ⑦ 退魔師の日常 ……………121
- ⑧ 洞窟に潜む罠 ……………141
- ⑨ 苗床の悪魔 ……………159
- ⑩ その後のテンタクラームズキ ……………179
- ⑪ 作品解説 ……………181
- ⑫ あとがき ……………185



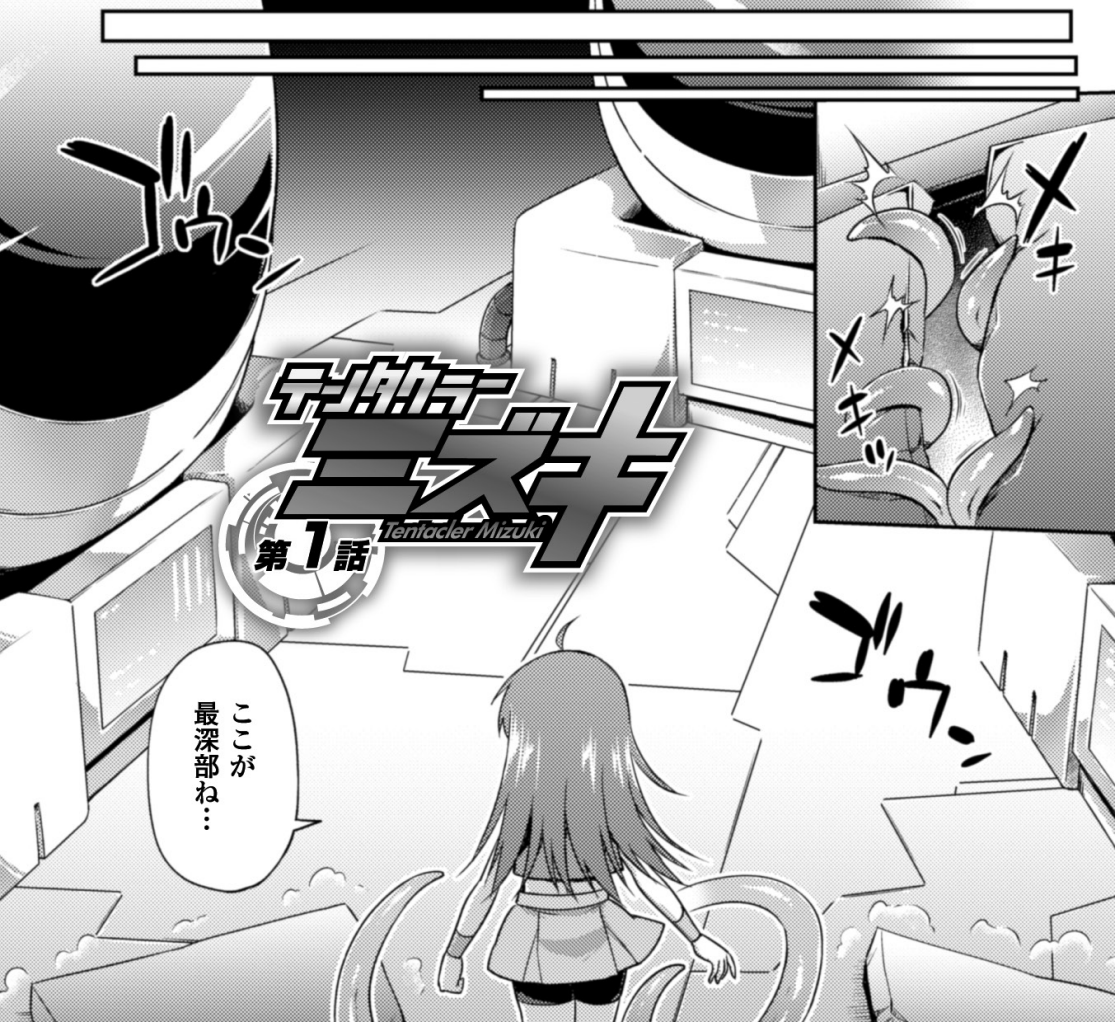


ぎやああああ



くそ  
触手使いか!

奥まで  
進ませる  
わけにはっ…



# テニタク ミズキ

第1話

TenTader Mizuki

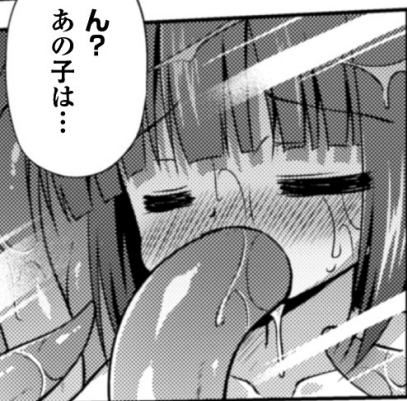
ここが  
最深部ね…



ジュン



うーわー  
悪趣味な装置…



ん？  
あの子は…



この研究所が事件に  
絡んでたなんて…

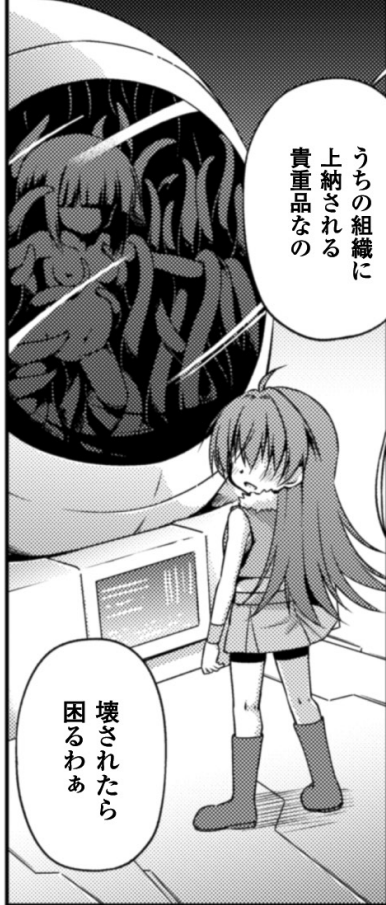
ただの調査依頼と  
聞いてたけど  
面倒なオプシヨンが  
付いてきたわね…



やっぱり…  
行方不明で搜索願が  
出てた子のひとりね…



おっと  
触らないで  
もらえる？



うちの組織に  
上納される  
貴重品なの

壊されたら  
困るわあ



それは  
生体エネルギー  
吸収カプセル



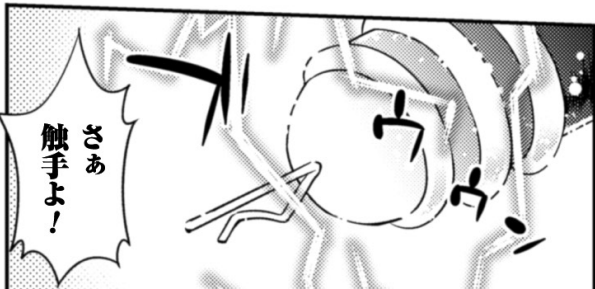
いかにも…

私は  
紫電のサリイ



ねえ？  
賞金稼ぎの  
ミスキさん

あなた…  
テントクラー  
触手使い？



さあ  
触手よ！



轟き破壊  
なさいっ！



そーよお！



ッ...



あなたの触手で  
対抗できるかしら！

くっ...

雷属性の  
触手!?



うーん！

ガードなんて  
無駄よお！



どうやら  
大した能力は  
なさそうねえ





その程度で力で  
組織にケンカを  
売るなんてね

く…  
ここまで触手を  
使すぎた…!



そんな  
身の程知らずには  
オシオキして  
あげなきゃね♡



っ…  
なにを!?



やっ...  
そんなとこ  
いじらないでっ

女の子に  
触手といえは  
やることは  
ひとつでしょ

びん

ぬる

ぬる



そ...  
っは...っ

お楽しみは  
これからよお♡

♡





ヒッヒッヒッ...

いたっ...!  
いたっ...!

どうかしら  
おしこの穴に  
全体重がかかる  
気分は?



ほーら  
ほかの穴にも  
追加よお♡



ヒッヒッヒッ...

ぎぢぎぢに  
伸びちゃって  
かーわいい♡



やああっ!!



くっ…  
まだこんなにッ



はあっ…

はあっ…

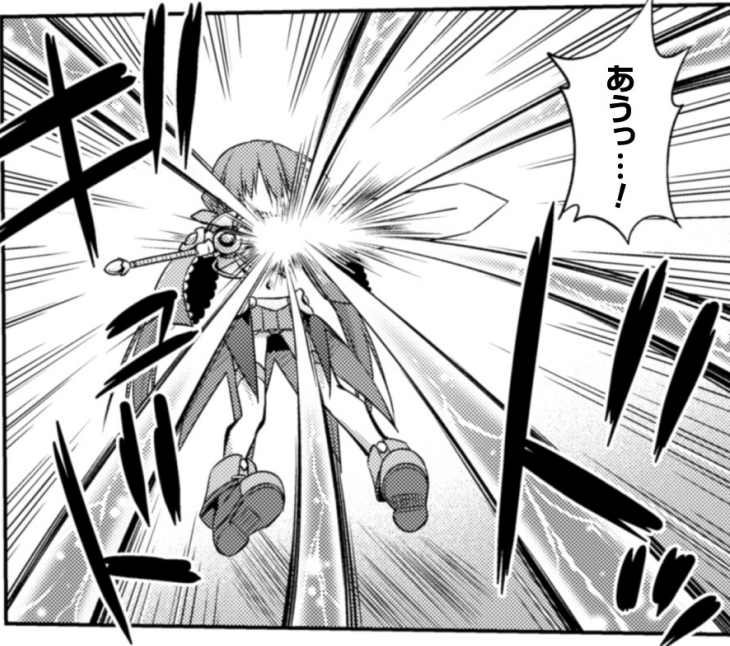
堕ち果てる魔法剣士



クハハッ  
多勢に無勢だな！



くっ  
剣がっ……！

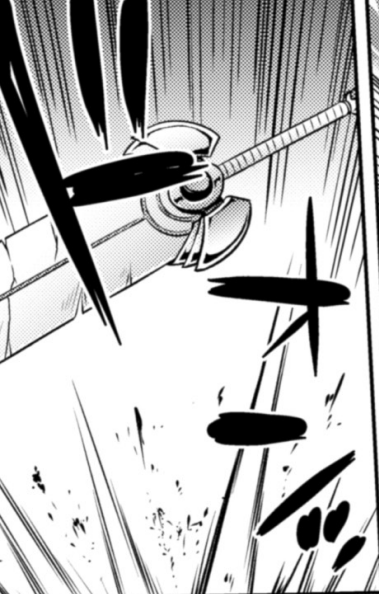


あうっ……！



キュイト

!!



…



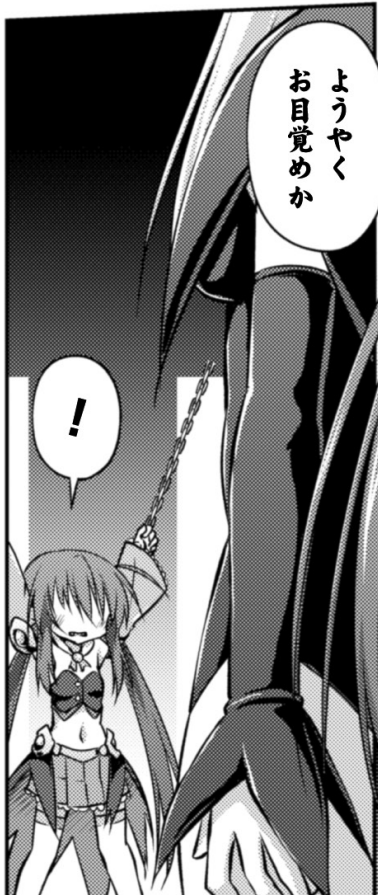
他愛もない

ひとりでは  
しよせんこの程度か



うっっっ...

こ  
こは...!!



ようやく  
お目覚めか

!





ようこそ  
我がアジトへ

なっ…

お  
お姉様ツ？



がく

最初は随分と  
抵抗していたが  
今ではこのザマだ



フッフ  
美しいオブジェ  
だろう？

あゝ

あゝ



あゝ



この外道っ！

殺すならさっさと  
殺さないまっ！

なにを言う

お前たちには  
さんざん我々の  
邪魔をされたのだ

ただ殺すだけでは  
つまらんだろう



ッ...



なあに  
安心するがいい

ちゅっ



お前もともに  
快樂の坩堝へと  
沈めてやる

ななにを  
打って...

さあ始めろ  
お前たち

ハイ...

ギ イ イ イ

これが捕らえた  
魔女ですか

うむ…

すでに  
聖水を注ぎ  
浄化作業を  
始めている

この髪と  
肌の色…

聞いていた通りの  
醜悪な外見ですな

# 囚われの 異邦人

ギ

ギ

ギ

ゴ

ゴ

た

た

ゴ





どうだ  
そろそろ認める  
気になったか？



フン  
まだシラを  
きるか

うっ…



ち…がっ

私…魔女  
なんかじゃ…

ハア



あっ…ぐっ

キサマの有する  
魔力の波長が  
人と異なることは  
分かっている

うう…

それでもなお  
認めぬつもりなら…

ッ…

なにを…

さらなる責め苦を  
与えることになるぞ

うめ…うめ…

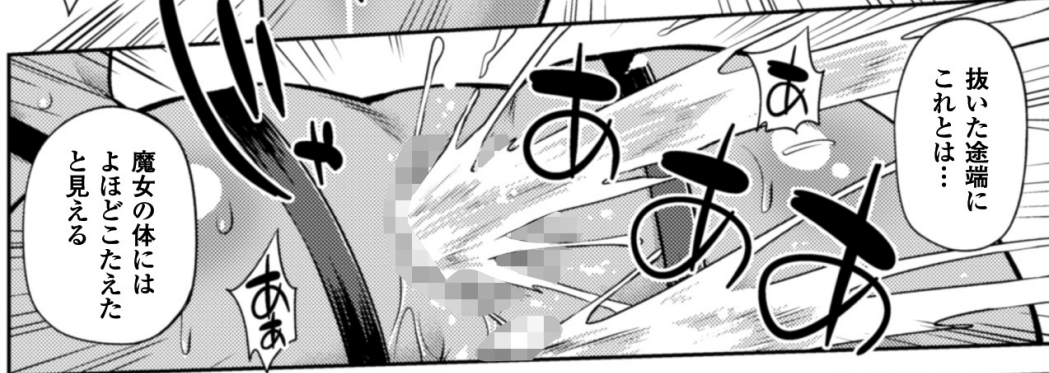
だだめっ  
今抜いたらっ…



ぐわんぐわんぐわん

でぢやう  
うううう

あーあーあ



抜いた途端に  
これとは…

魔女の体には  
よほどこたえた  
と見える

あま

あーあーあ



しかしこれだけ  
注いでも  
浄化の兆しが  
見えぬとは…

くあっ…

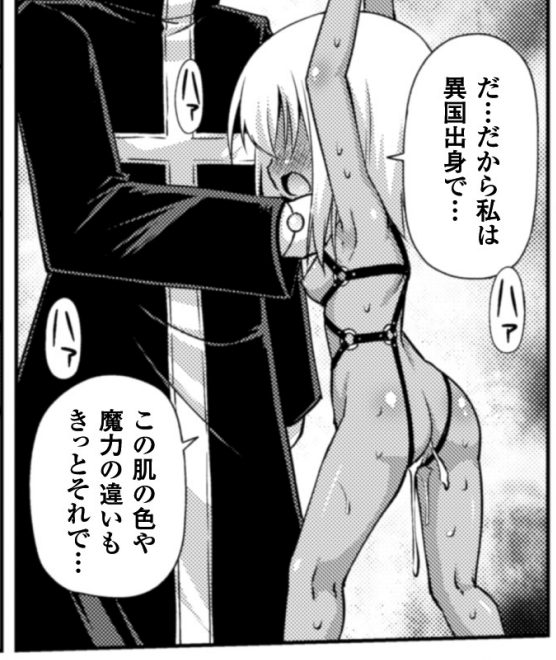
随分と強大な  
邪気を有して  
いるようだな

ぐわんぐわんぐわん



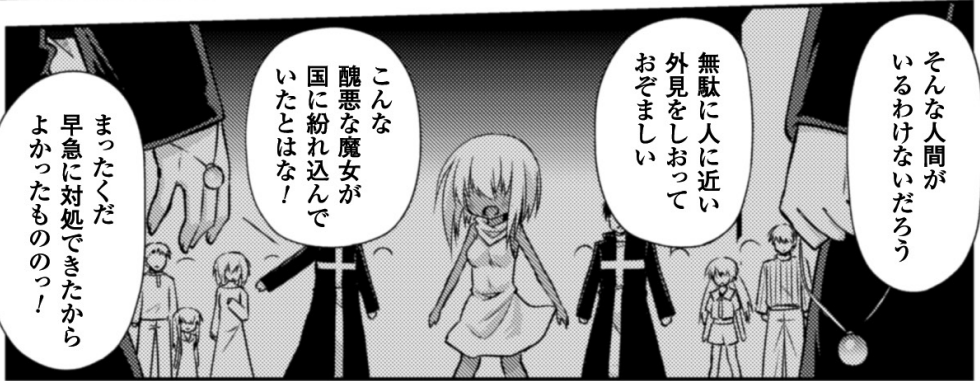
だから  
決して邪悪な  
力を持つてる  
わけじゃ…

フン…まだ  
そんな戯れ言を



だ…だから私は  
異国出身で…

この肌の色や  
魔力の違いも  
きつとそれで…

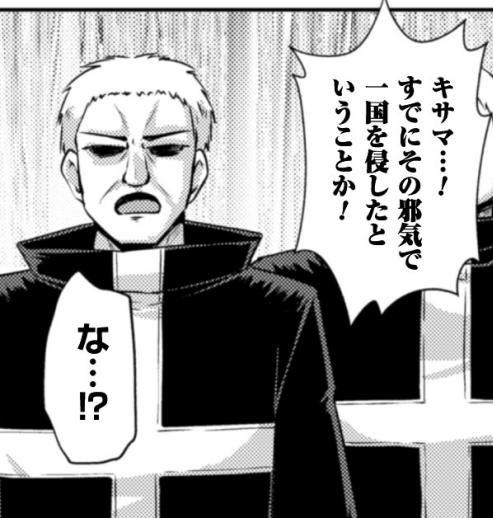


そんな人間が  
いるわけないだろう

無駄に人に近い  
外見をしおって  
おぞましい

こんな  
醜悪な魔女が  
国に紛れ込んで  
いたとはな!

まったくだ  
早急に対処できたから  
よかったものっ!



キサマ…!  
すでにその邪気で  
一国を侵したと  
いうことか!

な…!?



ひどい…

私の国では  
これが普通で…

国だと!?

やはり  
凶悪な魔女で  
間違いない！

これが事実なら  
その国の浄化も  
必要ですな

そ  
んな…

フ…  
まあそれは  
先のこと

ひっ…

今はこの魔女を  
きっちり浄化して  
しまおうとしよう





あぐ……ぐ

こ……この妖怪  
なんてカッ……!

# 退魔師の 日常







やめっ…

うあっ

びく

びく

びく

入って  
くるなめっ!



あ…がっ

奥まで  
さっさっ…っ

ごきゅ

おしっこの  
穴にまでっ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

お



や...めし  
うめめ...めし

いあ...あ  
激しすぎ...

びしょ

びしょ



くあ...

あッ

おなか  
こわれる...

ゲッ

ゲッ

ゲッ

ゲッ





封…

ッ…

滅ッ!!



シズクっ!

今だよ  
ユキちゃん!

ん？  
ステラのやつは  
どうした？

そーいや朝から  
見てないわね

あいつまた  
ひとりで出かけ  
やがったな

ったく変なとこに  
迷い込んでなきや  
いいが！

お  
いい純度♡

532 12  
わな  
畏むに窟洞

いやー  
こんなところに  
手付かずの鉱脈が  
あるなんてね

みんなには  
悪いけど  
ひとりじめね

↓  
立入禁止

……は？







くっ…  
初めて見る  
魔物だけど  
やるしかないか



なんだこの  
気持ち悪いの!?



おっ  
おん



え…!?



だああっ!!



あぐっ!

んっ

ガッ  
ガッ  
ガッ



く…刃が  
通らない…

どんな表皮  
してんの  
こいつ…ッ



きやあっ!?

ギョッ  
ギョッ

ギョッ  
ギョッ

ギョッ  
ギョッ





あれ…？



う…



え…  
なに  
してるの…？



わぁん！





魂の回収  
完了……っと

人の心が荒んで  
負の思念が場を  
支配してる……

魂狩りには  
うってつけね

元いた悪魔が  
急に失踪したのは  
不可解だけど……

いい狩場に  
巡り合えたわ

悪魔の苗床

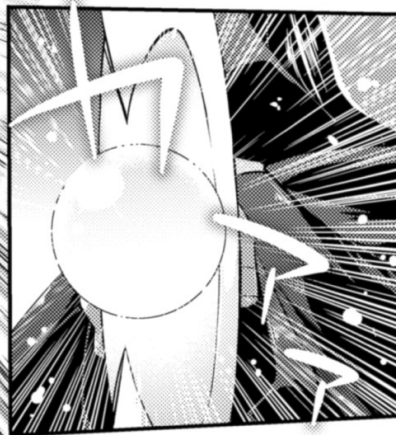
ちゅるん

さして  
じゃあ次の  
獲物を…

ス  
…

たん

ぐあっ!!



な…がつ

こ…  
拘束術式…ッ!!





う...

んじ...お...

痛...!?

ななんだ!?

あら...

お早い  
お目覚めね

まだ起きないと  
思っていたけれど…

準備は終わったから  
問題ないわね

きゅ

術の効きが  
悪いつてことは  
それだけ魔力が  
強いってことだし  
むしろ都合だわ

う…あつ

くそつ  
なんだお前!?

たかが人間が  
悪魔である  
この私につ!

ななにか  
入って…!?

私?

私は愛と正義の  
悪魔狩りちゃんよ

ぐわうぐわう



悪魔狩り？

表向きはね

じゃあこの街の  
悪魔はっ…

ご明察

本当は悪魔から  
魔力を吸収するために  
仕方なくだけど

私のために  
犠牲になって  
もらったわあ

カ  
タッ

…！

魔力を搾り尽くしたら  
次が必要になるんだけど

あなた達ときたら  
適当に負の思念を  
煽ってあげるだけで  
すぐ釣られてくれて  
助かってるわあ

ちっ…  
あれもお前の  
仕業か…っ



お前の方が  
よっぽど  
悪魔じみて  
やがる…!

フフ…いつまで  
そうやって強がって  
いられるかしら?



ハッ  
狂人め…っ

そうとも知らずに  
私を正義の味方と  
思ってるのよ

そんなバカな連中  
利用されるのが  
お似合いでしょ?



な…

うぐっ!?

びっ



あらあら  
隙間から  
溢れてるわよ



くあっ…

あああっ

どうやら薬が  
効いてきたようね

ジュジュ

ジュジュ

この続きは製品版をご購入の上、  
お楽しみください。

編集・発行

**株式会社キルタイムコミュニケーション**

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

**<http://ktcom.jp/>**